
2003年度決算 説明会

2004年 5月19日



三菱ガス化学株式会社

本日の出席者

取締役社長

小高 英紀

取締役

専務執行役員

中村 博海

取締役

常務執行役員

渡部 博

取締役

常務執行役員

五島 歸一

取締役

常務執行役員

上松 正次

取締役

常務執行役員

酒井 和夫

取締役

常務執行役員

喜嶋 安彦

執行役員

川崎 敏雄

本日の進行次第・配付資料

進行次第

1. 2003年度決算等 説明
2. 質疑応答

配付資料

- ・説明スライド コピー
- ・決算説明会参考資料
- ・ MGC CORPORATE
DATA BOOK 2003
- ・ 2003年度 決算短信
- ・ ニュース・クリッピング集
- ・ アンケート用紙
- ・ 封筒

決算説明

連結 2003年度通期実績 総括

	2003年度	2002年度	対前年比
売上高	3,407億円	3,121億円	+286億円
営業利益	149億円	19億円	+130億円
経常利益	189億円	29億円	+160億円
税引前利益	150億円	▲15億円	+165億円
当期純利益	106億円	▲5億円	+111億円

連結対象会社の変更

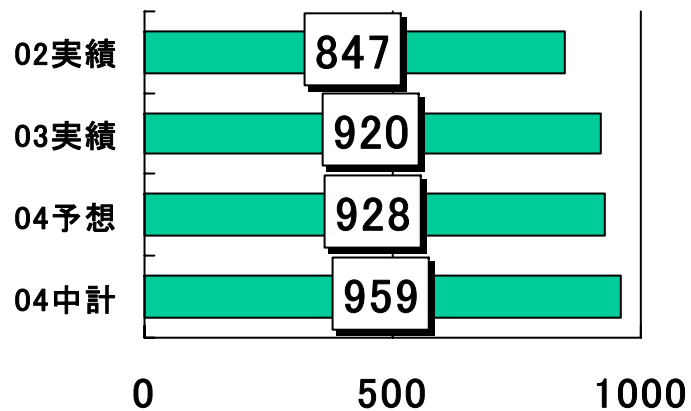
- 連結子会社の減少
 持分法適用会社から連結子会社へ
 ※ 但し、2003年度はB/Sのみ連結。P/L上は持分法適用。
- … ジャパンケミカルトランスポート(株)
 - … エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル(株)
- 持分法適用会社の追加
- … 日本アクリエース(株)

決算・業績予想

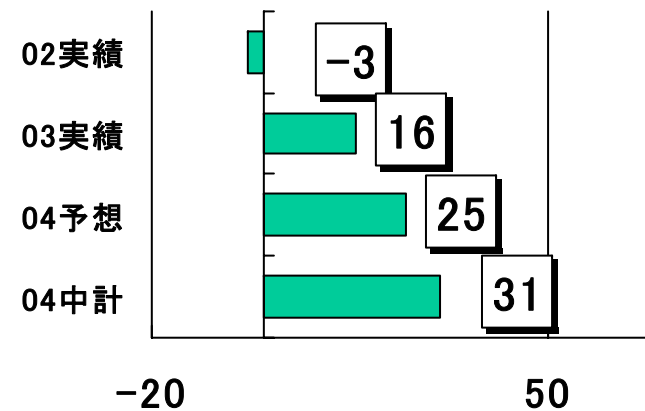
天然ガス系化学品カンパニー

単位：億円

売上高



営業利益



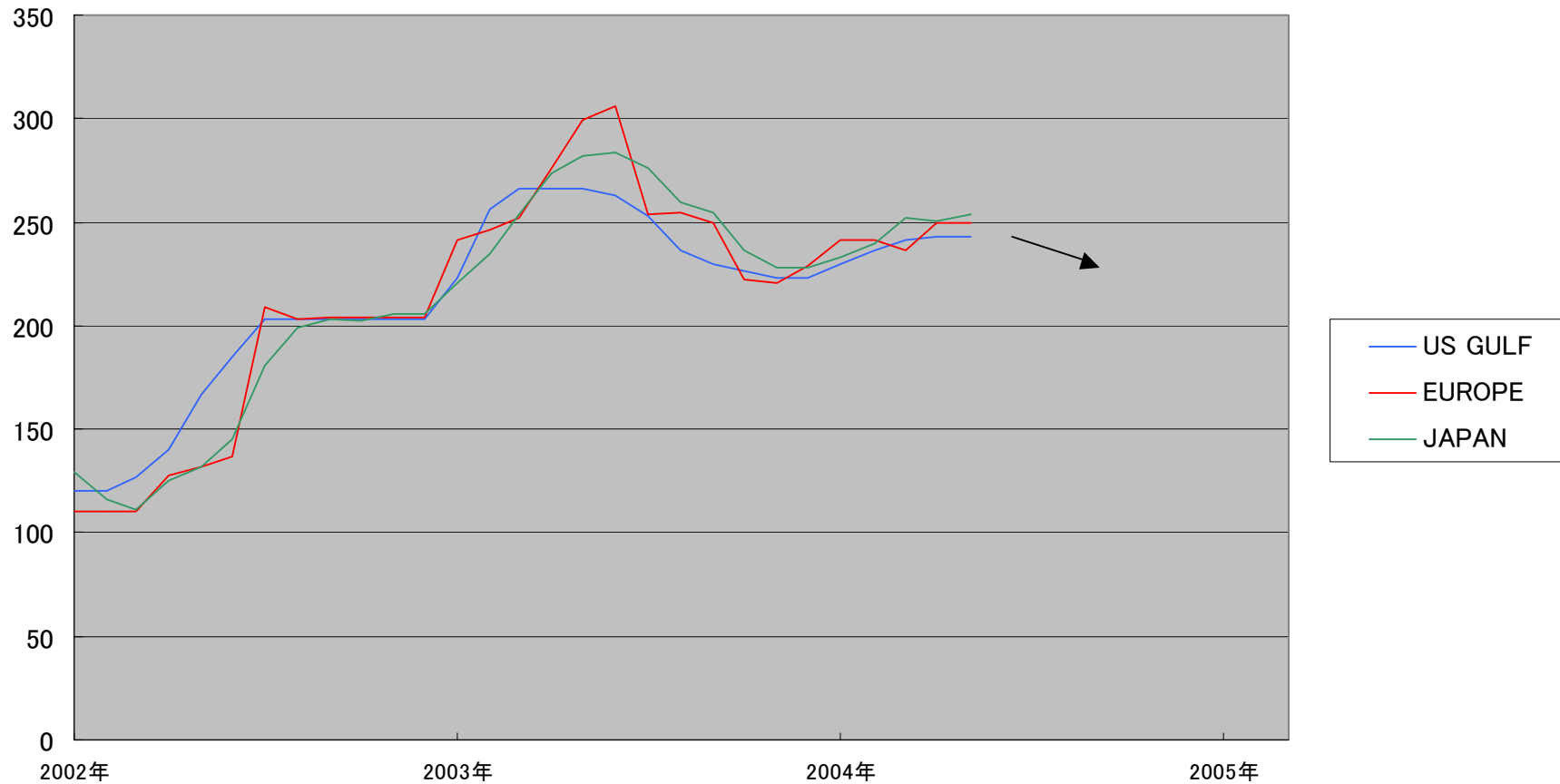
- ・ メタノール価格の高値安定
- ・ MMA事業の収益改善

Mitsubishi Gas Chemical Co.,Inc.



メタノール価格の推移

メタノール国際市況 (US\$/MT)



Mitsubishi Gas Chemical Co., Inc.

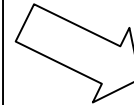
実績値 : USGULF、EUROPE …各種ニュースレターより JAPAN …通関統計より



MMA事業の収益改善

設備能力増強(2002、2003年度)

年間生産能力(MMA/MAA合計)
41,000t → 51,000t
(’02年10月) (’03年12月)

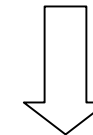
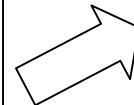


収益改善効果(対2002年度累計)

2003年度 +1.8億円
2004年度 +5.5億円

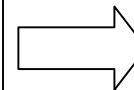
原単位改善

対2002年度 5%改善を達成



減価償却費(対2003年度累計)

- ・ 2004年度 △ 3億円
- ・ 2005年度 △ 10億円



収益改善額(対2002年度累計)

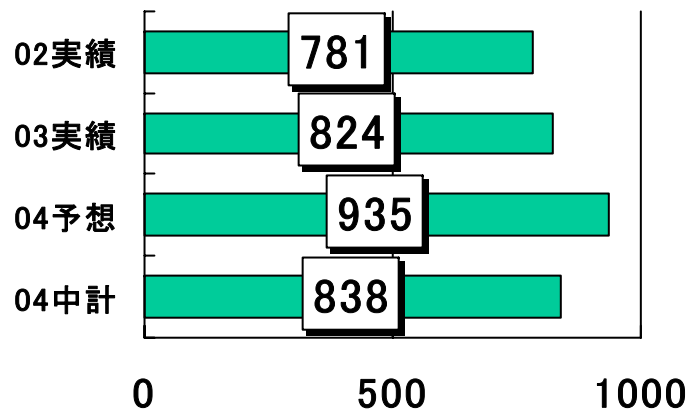
2003年度 +7億円
2004年度 +15億円
2005年度 +23億円以上

決算・業績予想

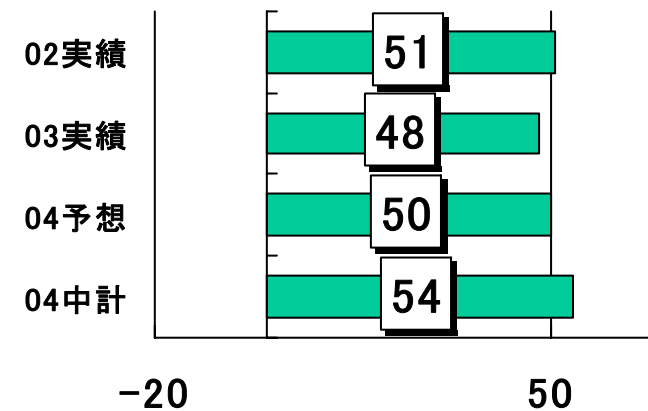
芳香族化学品カンパニー

単位：億円

売上高



営業利益



- ・ PX-PTA事業の収益安定化
- ・ メタキシレン系事業の強化拡充

PX-PTA 事業

PX-RX(原料キシレン)					予想値	
参考価格	02 上	02 下	03 上	03 下	04 上	04 下
PX ACP (円/kg)	62	71	72	73	79	79
RX公示価格 (円/kg)	39	43	45	47	54	54
スプレッド (円/kg)	23	28	27	26	25	25

ACP=Asian Contract Price

収益安定化の施策

- ・ 三菱化学との間でPTA販売J/V設立
- ・ 丸紅とのPX事業J/V設立

Mitsubishi Gas Chemical Co.,Inc.

メタキシレン系事業の強化拡充

MXナイロン事業

ガスバリア性樹脂の高成長を睨み、北米に生産拠点設立
(MGC Advanced Polymer [MAP]社)

- 2003年11月 建設工事着工
- 2005年初頭 営業生産開始

イソフタル酸事業

イソフタル酸製造・販売会社 AGIC社

BPとのJ/V → 連結子会社化し単独事業に

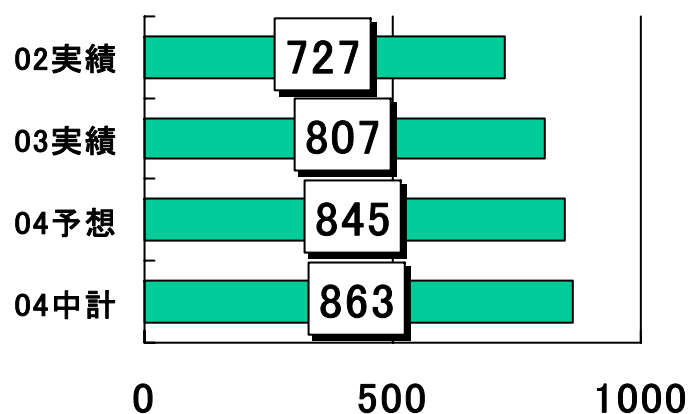
休止設備再稼動(04年) 最大能力70,000t/y → 120,000t/y

決算・業績予想

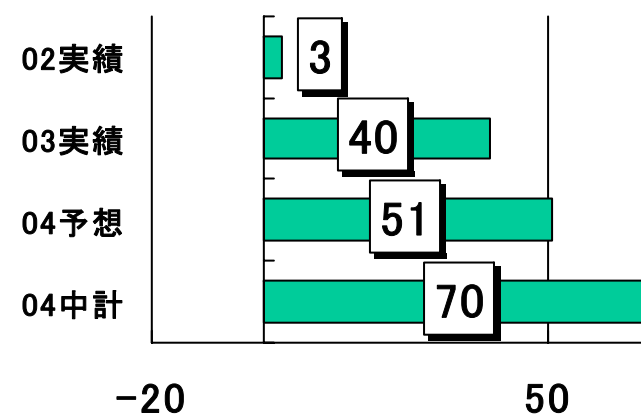
機能化学品カンパニー

単位：億円

売上高



営業利益



- ・ 無機化学品事業の構造改善
- ・ 合成樹脂事業の強化拡充

無機化学品事業の構造改善

コア事業のポジショニングの強化

(1)過酸化水素事業の強化

- ・非塩素漂白 (ECF) 需要の取込による拡販
- ・価格是正の継続、コスト削減による高収益化

(2)高純度薬品 (EL過酸化水素、ELアンモニア水) の拡販

- ・原料からの一貫生産による品質・コスト優位性の堅持
- ・業界再編の加速

新たなコア事業の育成

(1)LSI・FPD・PWB向け機能性薬品 (ELMクリーン、化学研磨液)

- ・高純度薬品による顧客とのネットワークの利用
- ・顧客ニーズに密着したソリューション型薬品の提供
- ・機能性薬品研究センター (ELセンター) の活用

(2)レンズモノマー事業の育成

- ・最高屈折材料 (IU-10) によるカスタマイゼーション

不採算事業の見直し (ヒドラジン事業)

- (1)ヒドラジン事業 → 大塚化学とのJV設立 (2004年4月1日営業開始)

合成樹脂事業の強化・拡充

POM

- ・ タイ生産子会社 設備増強(03年5月)
20,000t/y → 45,000t/y
- ・ 中国での生産合併会社に出資
60,000t/y (2005年初頭 操業開始予定)

PC

- ・ タイ生産会社 設備増強(03年8月)
60,000t/y → 140,000t/y

PPE

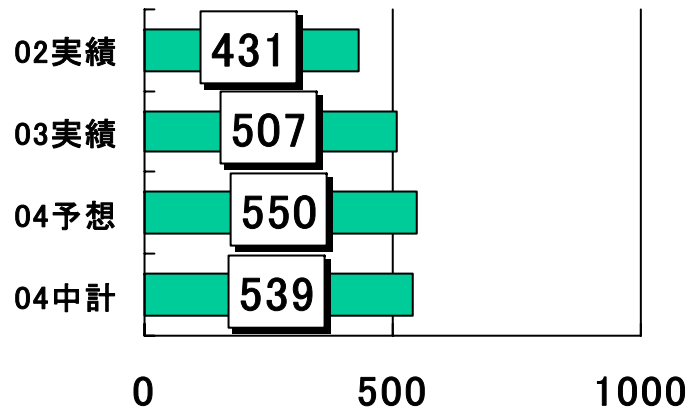
- ・ シンガポール生産合併会社 稼動
30,000t/y (02年12月稼動)

決算・業績予想

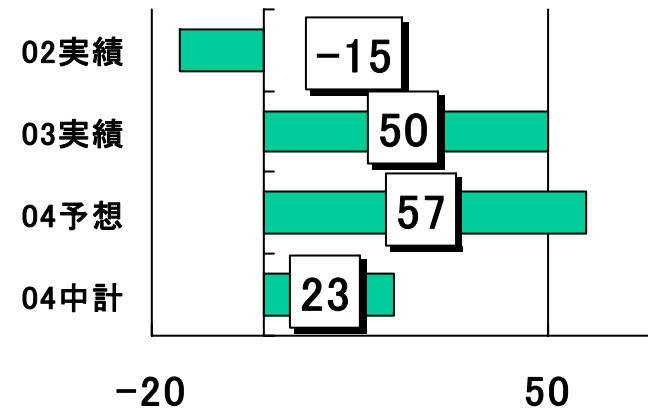
特殊機能材カンパニー

単位：億円

売上高



営業利益

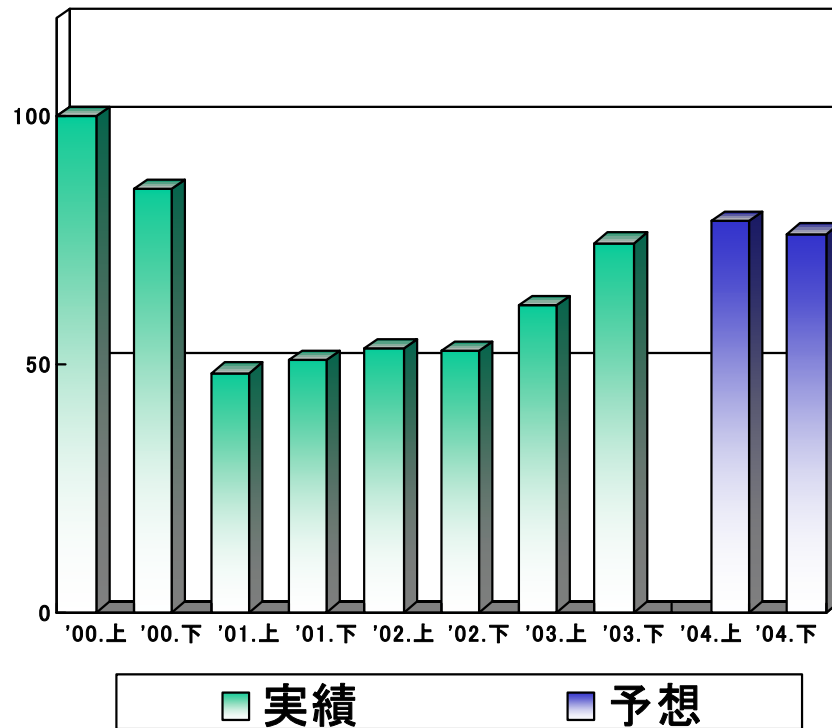


- ・ 電材アプリケーションの広がりと堅調な需要
- ・ 電子材料事業のリストラ効果

電子材料販売推移

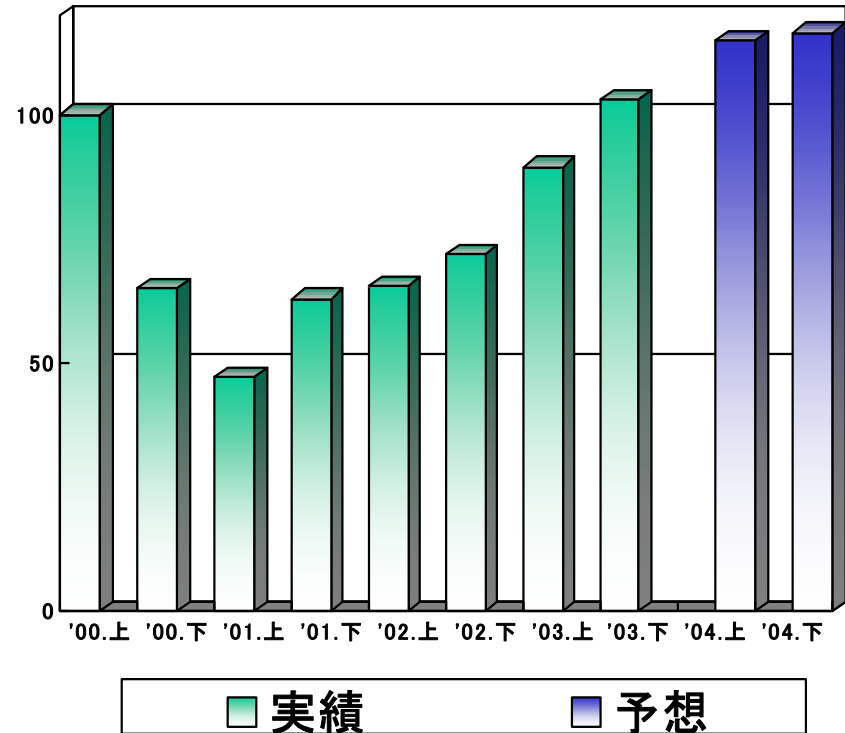
▶ 電子材料 売上高

('00年上期の売上高を100とした指数)



▶ BT系銅張積層板 販売数量

('00年上期の販売面積を100とした指数)



Mitsubishi Gas Chemical Co.,Inc.

電子材料の用途、リストラの内容

電子材料用途の 変化

- 1998年 … PC向けが8割(半分以上はMPU向け)
- 2000年 … MPUの比率が下がるもPC向けが大半。
- 2003年 … PCの比率は半分に。携帯機器向け拡大。

電子材料事業の リストラ

- ・ 生産拠点の集約
 - 多層材料 → 白河へ集約
 - シールド板 → 米沢へ集約
- ・ 人員の合理化・アウトソーシングの推進

赤字製品対策

中期経営計画目標

- ・ 2002年度 赤字対策対象製品 損失実績 ▲70億円を
2005年度末までに損益トントんに

実施済み項目

- ・ MMA能力増強・原単位改善
- ・ ヒドラジンアライアンス
- ・ 電材生産拠点統合と人員削減

対象製品 03年度損益合計

- ・ 改善額 14億円

対象製品 04年度損益合計

- ・ 改善累計額 39億円

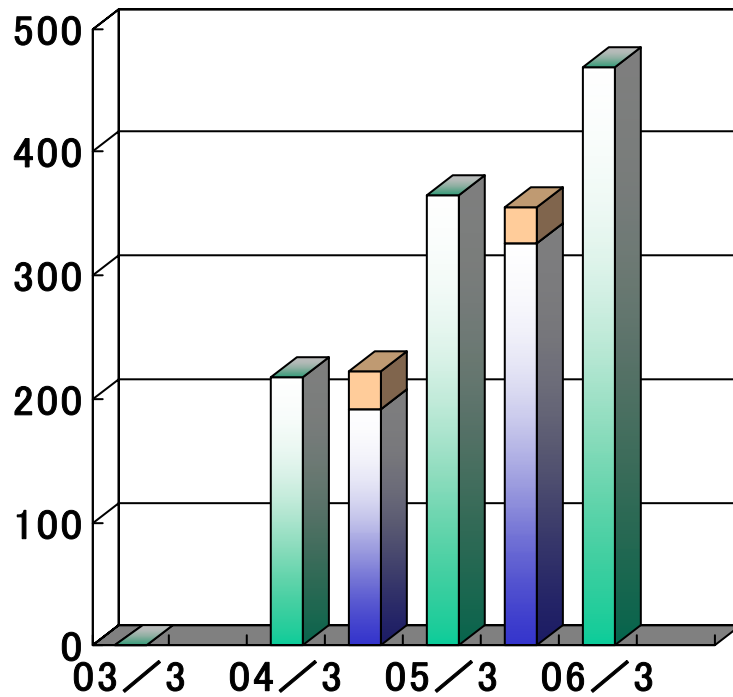
対象製品 05年度損益合計

- ・ 損益トントんに

人員削減・物流費削減

目標：連結人員469名削減

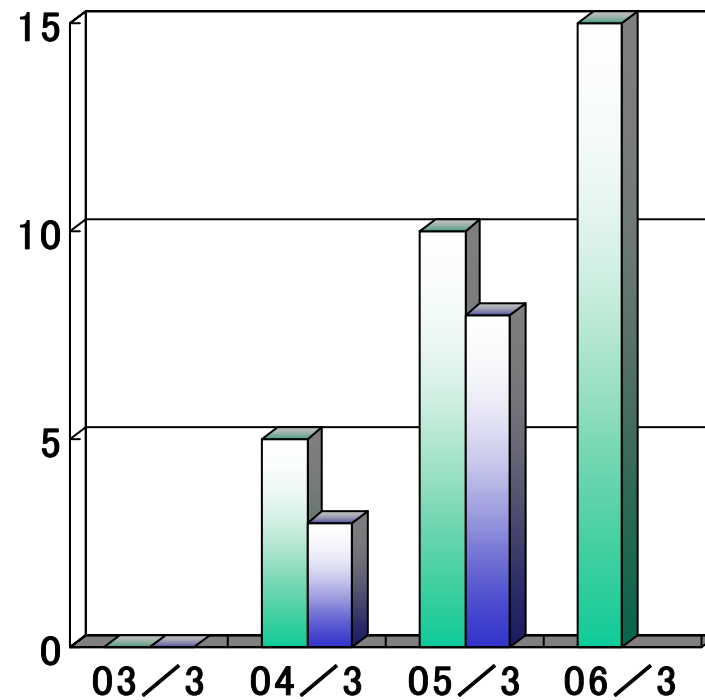
削減累計



■ 計画 ■ 実績・予想 ■ 前提変更

目標：物流費15億削減

削減累計



■ 計画 ■ 実績・予想

Mitsubishi Gas Chemical Co.,Inc.

2004年度業績予想 総括(売上高・営業利益)

	2004年度	2003年度	対前年比
売上高	3,580億円	3,407億円	+173億円
天然ガス系	928億円	920億円	+7億円
芳香族化学品	935億円	824億円	+112億円
機能化学品	845億円	807億円	+38億円
特殊機能材	550億円	507億円	+44億円
コーポレート	321億円	349億円	▲28億円
営業利益	165億円	149億円	+16億円
天然ガス系	25億円	16億円	+9億円
芳香族化学品	50億円	48億円	+2億円
機能化学品	51億円	40億円	+11億円
特殊機能材	57億円	50億円	+7億円
コーポレート	▲17億円	▲4億円	▲12億円

2004年度業績予想 総括(売上高・営業利益)

	2004年度	2003年度	対前年比
売上高	3,580億円	3,407億円	+173億円
天然ガス系	928億円	920億円	+7億円
芳香族化学品	935億円	824億円	+112億円
機能化学品	845億円	807億円	+38億円
特殊機能材	550億円	507億円	+44億円
コーポレート	321億円	349億円	▲28億円
営業利益	165億円	149億円	+16億円
天然ガス系	25億円	16億円	+9億円
芳香族化学品	50億円	48億円	+2億円
機能化学品	51億円	40億円	+11億円
特殊機能材	57億円	50億円	+7億円
コーポレート	▲17億円	▲4億円	▲12億円

2004年度業績予想 総括

	2004年度	2003年度	対前年比
売上高	3,580億円	3,407億円	+173億円
営業利益	165億円	149億円	+16億円
経常利益	195億円	189億円	+6億円
税引前利益	177億円	150億円	+27億円
当期純利益	130億円	106億円	+24億円

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社

広報IR部(佐藤、竹田)

TEL 03-3283-5041

FAX 03-3287-0833

<http://www.mgc.co.jp/>

E-mail: infoir@mgc.co.jp

<見直しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。